

なかだいらいせき

## 中平遺跡

(相模原市No.295 遺跡)

調査期間 20110315～20110515

所在地 相模原市緑区葉山島

時代

縄文  
奈良・平安  
近世以降



作成日:20110607

### 概要

本遺跡の調査は、国土交通省関東地方整備局相武国道事務所による一般国道468号(さがみ縦貫道路)建設事業に伴う発掘調査です。

遺跡は相模原市緑区葉山島に所在しています。JR上溝駅の西約4kmにあり、地形的には相模川西岸の標高73～74mの低位段丘上に位置します。調査は平成23年3月15日から平成23年5月15日まで2ヶ月間行いました。

調査の結果、まず表土30cmを除去したところ、近世以降では7条の凹みからなる畝状遺構、奈良・平安時代では直径1



▲ 縄文時代遺構検出状況

～2mの円形土坑2基がありました。

遺跡の主体は縄文時代です。集石1基や配石8基、焼土址5基などを調査しました。集石は焼けた礫が集められたものです。近くでは焼土址も見つかっており、調理に関する施設と考えられます。配石のうちの1基は下部に土坑があり、墓の可能性が考えられました。

出土土器は縄文時代中期と後期の土器がありましたが、後期の堀之内(ほりのうち)式土器と呼ばれる土器が主体でした。石器では打製石斧・磨製石斧・礫器(れっき)・磨石(すりいし)・石皿(いしざら)・石錘(せきすい)などが出土しました。竪穴住居址は見つかりませんでした。低位段丘を利用した集落の一端をとらえることができました。

なお4月24日(日)には地元にお住まいの方々を中心に遺跡見学会を開催しました。(当日配布資料は「見学会等のパンフレット」からダウンロードできます。)

今後、出土品整理作業を行う予定となっています。



▲ 集石検出状況



▲ 配石検出状況



▲ 磨製石斧出土状況



▲ 見学会の様子